

「第38回近畿地域農山漁村女性のつどい」の開催結果の概要

去る平成18年9月5日、6日に兵庫県神戸市において、第38回近畿地域農山漁村女性のつどいを「ひらかれた農山漁村を発信する私たち～自分が変わる、何かが始まる～」をテーマに開催しました。

管内各府県の女性グループの代表者等184名の参加を得て、優良事例表彰式、講演、パネルディスカッション、現地研修などを通じ、府県間を超えた意見交換や情報交換が活発に行われました。

兵庫県生活研究グループ連絡協議会邑橋会長、近畿農政局進藤局長、兵庫県農林水産部西村部長からご挨拶をいただいた後、近畿農政局男女共同参画優良事例の3団体、3個人に対して、生産経営流通部澁川部長から審査講評が行われ、近畿農政局長から賞状を授与いたしました。

その後、講師、パネルディスカッションのコーディネータとして、兵庫県立男女共同参画センターの中野所長を迎え、「少子高齢社会と男女共同参画～女性がチャレンジしやすい社会の実現～」をテーマにご講演いただき、引き続き、表彰者6名をパネリストとして「女性の元気が地域を変える」をテーマにパネルディスカッションを行いました。

また、最近の女性の活動では、学校給食や体験学習を通じた食育活動が活発になってきたことから、消費・安全部消費生活課の中山課長より「食育の推進に向けて」として話題提供をいただきました。

第2部の交流会では、兵庫県の各地域から提供された食材を使った、一流シェフによる地産地消がテーマの料理が並び、参加者は数々の料理に加えられたひと手間を堪能しながら、地元料理や自らの活動の話にと、府県を超えての交流が活発に行われました。

翌日は、神戸市立農業公園、六甲のめぐみ、山田錦の郷の現地研修を行いました。

参加者から回収したアンケートによると(回収率62%)、今回のつどいが有意義であったと答えた人が80%、現在抱える問題の36%が高齢化による後継者不足でした。その他多くの自由意見が寄せられ、参加者の熱心さが伺えたとともに、次回開催計画の参考にすることとしました。



近畿農政局男女共同参画推進本部優良事例表彰者の皆様